



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社 タムロン 上場取引所 東
 コード番号 7740 URL http://www.tamron.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 土屋 次男 TEL 048 (684) 9111
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 平成25年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	31,453	3.4	2,360	△18.0	2,292	△19.2	1,615	△22.2
24年12月期第2四半期	30,432	8.2	2,879	△4.4	2,836	△8.8	2,077	△3.8

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 4,047百万円 (78.8%) 24年12月期第2四半期 2,262百万円 (△5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	58.86	—
24年12月期第2四半期	75.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	62,149	44,029	70.8
24年12月期	58,058	40,805	70.3

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 44,029百万円 24年12月期 40,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	20.00	—	30.00	50.00
25年12月期	—	20.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	13.4	6,300	14.5	6,100	13.4	4,000	2.7	145.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期2Q	27,500,000株	24年12月期	27,500,000株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	49,364株	24年12月期	49,307株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期2Q	27,450,688株	24年12月期2Q	27,450,713株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年6月30日)における世界経済を概観しますと、米国経済は、雇用環境や住宅市場の改善、個人消費の増加により底堅く推移しました。欧州経済は、債務問題による緊縮財政や若年層の失業率上昇、個人消費の低迷などの影響から景気停滞が長期化しました。新興国経済は全般的に成長が減速し、中国経済は1～6月期の経済成長率が7.6%になるなど景気減速が鮮明になりました。

一方わが国経済は、日銀による金融緩和効果などにより昨年末以降、景気回復傾向が続き、個人消費は株高などを背景に大幅なマインド改善が見られたものの、デフレ脱却は道半ばの状況であります。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場は、レンズ一体型タイプの出荷台数は前年同期に比べ約5割減となり、レンズ交換式タイプも前年同期に比べ約2割減、交換レンズ市場でも前年同期に比べ約1割減となり厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、写真関連事業や特機関連事業の売上高が為替のプラス影響もあり、第2四半期累計期間としては過去最高を更新し、314億53百万円(前年同期比3.4%増)となりました。一方、利益面につきましては市場環境が厳しい中、為替のプラス影響以上に販売数量の減少に伴い利益が減少したことや営業費用が増加したことなどにより営業利益23億60百万円(前年同期比18.0%減)、経常利益22億92百万円(前年同期比19.2%減)、四半期純利益16億15百万円(前年同期比22.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(写真関連事業)

写真関連事業は、売上高につきましては、第2四半期累計期間としては過去最高を更新したものの、中国では前年割れとなった他、市場の調整局面が続く中、一部製品の値下げや営業費用の増加の影響などにより減益となりました。

このような結果、写真関連事業の売上高は223億80百万円(前年同期比2.3%増)となり、営業利益は19億56百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

(レンズ関連事業)

レンズ関連事業は、コンパクトデジタルカメラや、デジタルビデオカメラ市場は、スマートフォンの普及拡大などにより大幅な縮小が続いている状況下、売上高は減少となりましたが、利益につきましては開発費の回収などもあり増加となりました。

このような結果、レンズ関連事業の売上高は38億33百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益は6億13百万円(前年同期比38.2%増)となりました。

(特機関連事業)

特機関連事業は、監視カメラの高画質化ニーズが高まるなか、一体型監視カメラ市場の拡大により、ビルトイン(一体型カメラ用)レンズの販売が引き続き好調に推移し、売上高、営業利益ともに第2四半期累計期間としては過去最高となりました。

このような結果、特機関連事業の売上高は52億39百万円(前年同期比24.9%増)、営業利益は8億66百万円(前年同期比18.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は621億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億90百万円増加いたしました。うち、流動資産が8億5百万円増加し、410億17百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が16億52百万円減少した一方、現金及び預金が24億82百万円増加したことによるものであります。固定資産は32億84百万円増加し211億31百万円となりました。これは主に有形固定資産のうち建物及び構築物が14億77百万円増加したことによるものであります。

また負債は181億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億67百万円増加いたしました。うち、流動負債が4億1百万円減少し、138億60百万円となりました。これは主に、買掛金が13億円減少したことによるものであります。固定負債は、12億69百万円増加し、42億59百万円となりました。これは主に、長期借入金金が11億27百万円増加したことによるものであります。

純資産は、主に為替換算調整勘定の残高が14億34百万円となったことにより、前連結会計年度末に比べ32億23百万円増加し、440億29百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ24億82百万円増加し、133億5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

仕入債務の減少が28億42百万円となった一方、税金等調整前四半期純利益が22億92百万円、減価償却費が16億13百万円、売上債権の減少額が30億11百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは41億60百万円の収入(前年同期は33億32百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が33億91百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは35億14百万円の支出(前年同期は17億53百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額が8億23百万円となった一方、短期借入金の純増額が4億85百万円、長期借入れによる収入が20億40百万円あったことにより、財務活動によるキャッシュ・フローは10億81百万円の収入(前年同期は13億4百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの第2四半期連結業績は計画を下回り、デジタルカメラ市場の先行きも不透明ではありますが、為替影響などを考慮した結果、平成25年2月5日に発表した通期業績予想を据え置くことといたします。

なお、第3四半期以降の為替レートにつきましては、1米ドル=98円(年初想定レートは85円)、1ユーロ=125円(同115円)を前提としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の海外連結子会社において、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,822	13,305
受取手形及び売掛金	15,509	13,856
製品	8,144	7,536
仕掛品	2,842	3,197
原材料及び貯蔵品	1,376	1,545
繰延税金資産	668	576
その他	899	1,054
貸倒引当金	△52	△53
流動資産合計	40,211	41,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,505	10,281
減価償却累計額	△5,053	△5,351
建物及び構築物(純額)	3,452	4,929
機械装置及び運搬具	15,808	18,175
減価償却累計額	△9,813	△11,013
機械装置及び運搬具(純額)	5,994	7,161
工具、器具及び備品	16,253	16,688
減価償却累計額	△13,846	△14,127
工具、器具及び備品(純額)	2,407	2,560
その他	2,558	2,829
有形固定資産合計	14,413	17,481
無形固定資産	721	707
投資その他の資産		
投資有価証券	1,649	1,853
繰延税金資産	529	530
その他	626	663
貸倒引当金	△93	△105
投資その他の資産合計	2,712	2,943
固定資産合計	17,846	21,131
資産合計	58,058	62,149

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,410	4,109
短期借入金	3,928	4,911
未払法人税等	699	501
その他	4,223	4,337
流動負債合計	14,262	13,860
固定負債		
長期借入金	1,547	2,674
退職給付引当金	1,154	1,292
その他	288	292
固定負債合計	2,990	4,259
負債合計	17,252	18,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,923	6,923
資本剰余金	7,432	7,432
利益剰余金	27,310	28,102
自己株式	△81	△81
株主資本合計	41,584	42,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	218
為替換算調整勘定	△873	1,434
その他の包括利益累計額合計	△778	1,652
純資産合計	40,805	44,029
負債純資産合計	58,058	62,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	30,432	31,453
売上原価	20,600	21,592
売上総利益	9,832	9,860
販売費及び一般管理費	6,952	7,500
営業利益	2,879	2,360
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	24	24
その他	60	60
営業外収益合計	98	93
営業外費用		
支払利息	68	44
為替差損	53	90
その他	19	26
営業外費用合計	141	161
経常利益	2,836	2,292
税金等調整前四半期純利益	2,836	2,292
法人税等	758	676
少数株主損益調整前四半期純利益	2,077	1,615
四半期純利益	2,077	1,615

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,077	1,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	123
為替換算調整勘定	115	2,308
その他の包括利益合計	185	2,431
四半期包括利益	2,262	4,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,262	4,047

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,836	2,292
減価償却費	1,434	1,613
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	123	136
受取利息及び受取配当金	△37	△32
支払利息	68	44
売上債権の増減額(△は増加)	△2,607	3,011
たな卸資産の増減額(△は増加)	604	1,217
仕入債務の増減額(△は減少)	869	△2,842
その他	1,026	△498
小計	4,319	4,941
利息及び配当金の受取額	37	32
利息の支払額	△68	△42
法人税等の支払額	△960	△771
法人税等の還付額	4	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,332	4,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,507	△3,391
無形固定資産の取得による支出	△43	△50
その他	△202	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,753	△3,514
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△782	485
長期借入れによる収入	800	2,040
長期借入金の返済による支出	△497	△620
配当金の支払額	△822	△823
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,304	1,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	755
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	299	2,482
現金及び現金同等物の期首残高	12,773	10,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,072	13,305

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	合計
	写真関連事業	レンズ関連 事業	特機関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,870	4,369	4,193	30,432	—	30,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	21,870	4,369	4,193	30,432	—	30,432
セグメント利益	2,792	444	732	3,968	△1,088	2,879

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△1,088百万円は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	合計
	写真関連事業	レンズ関連 事業	特機関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,380	3,833	5,239	31,453	—	31,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,380	3,833	5,239	31,453	—	31,453
セグメント利益	1,956	613	866	3,436	△1,075	2,360

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△1,075百万円は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等であります。